

コンピュータチェック事例コード

48SJ990620003 その他 1事例グループ化

コンピュータチェック内容

アジスロマイシン錠250mgの算定があり、尿道炎又は子宮頸管炎等がなく、投与量が3錠以上算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

医薬品添付文書の用法・用量より、尿道炎と子宮頸管炎は「成人にはアジスロマイシンとして、1000mg（力価）を1回経口投与する。」と示されております。
一方、骨盤内炎症性疾患は「成人にはアジスロマイシン注射剤による治療を行った後、アジスロマイシンとして250mg（力価）を1日1回経口投与する。」、深在性皮膚感染症等は「成人にはアジスロマイシンとして、500mg（力価）を1日1回、3日間合計1.5g（力価）を経口投与する。」とされており、尿道炎と子宮頸管炎以外で投与量が2錠を超える用法・用量は示されていません。

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

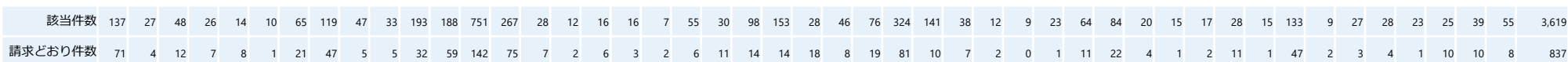
- 全国の査定・返戻割合 76.87%
- 検証対象都道府県 39

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	三重、秋田、北海道、宮崎、茨城、愛媛、石川、岐阜、福岡、福島、千葉、山梨、神奈川、宮城、広島、鹿児島	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	宮崎、東京、北海道、山口、愛媛、福岡、滋賀、長野、神奈川、新潟、大阪、鹿児島、三重、京都、千葉、和歌山	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	茨城、岩手、福島、北海道、秋田、三重、広島、千葉、神奈川、福岡、愛媛、岐阜、鹿児島、宮崎、福井、滋賀	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数 (全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	3,619件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,782件
検証を必要とする審査	請求どおり	837件

2025年10月～2026年3月審査分 (%)



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数